

事務事業マネジメントシート(平成28年度実績と平成29年度計画)

平成29年 5月22日更新

事務事業名		小中学校施設維持管理事業				☐ マニフェスト関連 ☒ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連				
総合計画体系	政策	3	教育の健康				所属部	教育委員会事務局教育部	課長名	右田 純司
	施策	9	義務教育の充実				所属課	学校教育課	担当者名	齋田 奏子
	施策の柱	36	義務教育施設の整備				所属班	学務指導班	(内線)	2227
予算科目		会計一般	款10	項2	目1	事業連番10727 他	根拠法令	なし		成果優先度評価結果 : ⑫ コスト削減優先度評価結果 : ⑥
終了、開始年度		☐ 28年度で終了 ☐ 28年度から開始				事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)			

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	校舎施設を維持し、教育環境を良好な状態に維持するために開始された校舎建築後ある程度年数が経過すれば、施設維持費は増加してくる。 【事業の内容】小中学校施設を維持管理することにより、その機能を良好な状態に保ち、効率的で安全な教育環境を維持する。
【業務の流れ】	小中学校施設を維持管理することにより、その機能を良好な状態に保ち、効率的で安全な教育環境を維持する。
【主な予算費目】	需用費（施設修繕費）、役務費、委託料、原材料費
【意見や要望】	特になし

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 28年度実績(28年度に行った主な活動) (DO)	29年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)	
小中学校施設を維持管理することにより、その機能を良好な状態に保ち、効率的で安全な教育環境を維持した。(軽微な修繕、除草作業、陸屋根清掃他)	28年度と同様に実施する。小中学校施設を維持管理することにより、その機能を良好な状態に保ち、効率的で安全な教育環境を維持する。(軽微な修繕、除草作業、校舎・体育館清掃他)	
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
→ ア: 小学校における施設修繕件数	件	主に小中学校(10校分)の施設修繕費の増額
→ イ: 中学校における施設修繕件数	件	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	(単位)	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
小中学校		→ ア: 小学校数
		→ イ: 中学校数
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	(単位)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
小中学校施設を維持管理することにより、その機能を良好な状態に保ち、効率的で安全な教育環境を維持し、児童生徒に支障なく教育を受けてもらう。		→ ア: 学校の環境が良好であると感じる児童の割合
		→ イ: 学校の環境が良好であると感じる生徒の割合
* ③ 成果指標設定の理由と29年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
教育活動を進めて行くには施設を維持管理し良好な状態に保つことが必要である。		全体計画
		～ 年度
		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	26年度 実績(決算)	27年度 実績(決算)	28年度 目標(当初予算)	28年度 実績(決算)	29年度 目標(当初予算)	30年度 予定	31年度 見込	32年度 見込
① 活動指標	ア 件	件	120	120	120	102	120	120	120	120
	イ 件	件	105	105	85	60	85	85	85	85
② 対象指標	ア 校	校	7	7	7	7	7	7	7	7
	イ 校	校	3	3	3	3	3	3	3	3
③ 成果指標	ア %	%	100	100	100	100	100	100	100	100
	イ %	%	100	100	100	100	100	100	100	100
投 入 費 量	財 源 内 訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円	15	30	10	75	30	15	15
		繰入金	千円							
	(A) 事業費計	一般財源	千円	12,143	14,104	15,379	13,240	15,404	16,000	16,000
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
	人 件 費	正規職員従事人数	人	1	2	3	3	3	3	3
		延べ業務時間	時間	100	90	33	310	33	33	33
	(B) 人件費計		千円	398	334	131	0	131	131	131
	トータルコスト(A)+(B)		千円	12,556	14,468	15,520	13,315	15,565	16,146	16,146

事務事業名	小中学校施設維持管理事業	所属部	教育委員会事務局教育部	所属課	学校教育課
-------	--------------	-----	-------------	-----	-------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は28年度の事後評価、ただし複数年度事業は28年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①28年度目標達成度評価	☒ 達成した ☐ 達成しなかった ⇒【理由】
	②29年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 ☐ 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 計画的かつ必要に応じて整備する
有効性評価	③成果の向上余地	☐ 向上余地がある ⇒【理由】 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】 学校施設の維持管理の事業であり、成果の向上余地はない。現状を維持していくためには、事業の継続が必要である。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) ☒ 他に手段がない ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似事業はない
効率性評価	⑤事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 修繕等必要な箇所は、対応しなければならず事業費の削減余地はない。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 必要最低限の業務時間であり委託するような業務時間でない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 学校施設の維持管理であり、一部の受益者にかたよるものではない。受益者負担は取っていない
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☐ 役割分担は適正である ⇒【理由】 他に分担はできない

3 評価結果の総括 (CHECK)

小中学校施設の適切な維持管理を行い、その機能を良好な状態に保ち、効率的で安全な教育環境を維持した。修繕等、必要に応じて計画的に整備を行う必要がある。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 ☐廃止 ☐休止 ☐目的再設定 ☐事業統廃合・連携 ☐事業のやり方改善（有効性改善） ☐事業のやり方改善（効率性改善） ☐事業のやり方改善（公平性改善） ☒現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）				(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果</th><th>向上</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>維持</th><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td></td><td></td><td></td></tr></table>						コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
		コスト																										
		削減	維持	増加																								
成果	向上																											
	維持		○																									
	低下																											
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																												